

# 第14回日本加速器学会総会

## 式次第

1. 広報・ウェブ幹事報告
2. 編集幹事報告
3. 庶務幹事報告
4. 行事幹事報告
5. 会計幹事報告



## 広報ウェブ委員

広報幹事: 田中俊成(日大)

菊澤信宏(J-PARC)、佐藤政則(KEK)、古川和朗(KEK)、  
宮本篤(東芝株)、柳田謙一(SPring-8)

## 活動内容

### ○通常活動

公募・国内外会議のウェブページについて随時更新を行っている。

### ○学会ウェブサーバ移転の準備

本年度中に学会ウェブページを三美印刷(株)のサーバに移転する予定。  
ページの体裁も、更新のため検討中。

### ○紙媒体プロシーディングスPDF化

目次・著者索引用データ作成を学生アルバイトに依頼して進めている。  
現在約 60% を処理済み。

# 広報ウェブ幹事報告(2/2)



## ○年会プロシーディングス

- ・テンプレートを更新
- ・第10回以来、年会中の交流・議論の便を図るため、会期中にPDFをウェブ上で公開
  - ⇒ 未編集かつ修正が見込まれる原稿の公開は、問題を生じかねない
  - ⇒ 13回年会からは、正式公開版までは公開しない方針に変更

## ○「社会に役立つ加速器」をアピールするウェブの取り組み

- ・学会誌12巻4号特集記事の抄録(一般向け)を、サーバ移転後ウェブ上で公開する予定。
- ・第13回年会の特別講演「粒子線治療の過去、現在、未来」(前放医研 辻井博彦氏)をビデオ収録し、15分程度に編集しウェブで一般向けに公開する予定。
- ・今後も一般向けウェブ・アーカイブの充実に取り組む予定。

# 編集幹事報告(1/2)



## 編集委員

委員長: 栗木雅夫(広島大)

伊藤正俊(東北大サイクロ)、大熊春夫(JASRI)、帯名崇(KEK)、  
加瀬昌之(理研)、川瀬啓悟(阪大)、菊谷英司(KEK)、  
設楽哲夫(KEK)、田中俊成(日大)、中山光一(東芝)、  
内藤富士雄(KEK)、長谷川和男(JAEA)、保坂将人(名古屋大)、  
依田哲彦(阪大)、涌井崇(放医研)

## 今後の発行予定

- 第13巻第3号(2016.10.30) 原稿締切8.30
- 第13巻第4号(2017.1.30) 原稿締切11.30
- 第14巻第1号(2017.4.30) 原稿締切2.28
- 第14巻第2号(2017.7.30) 原稿締切5.30

## 学会誌での特集企画

本年4月3日に行われた第27回編集委員会にて学会誌の内容の充実について検討が行われ、来年1月末発行の13巻4号は「中性子利用」となった。今後の特集企画について、会員からも積極的な提案を期待したい。

# 庶務幹事報告(1/4)



## 2016年の学会後援・共催・協賛会議 一覧

### 2016年開催の会議等

会期等	行事名称	許可日	種類
1月26日(火)	放射線医学総合研究所 第3期中期計画成果発表会	2015年10月23日	後援
3月15日(火)~16日(水)	2015年度量子ビームサイエンスフェスタ	2015年12月3日	協賛
7月6日(水)~8日(金)	第53回アイソトープ・放射線研究発表会	2015年10月21日	協賛
7月14日(木)~15日(金)	第11回核融合エネルギー連合講演会	2016年 4月 7日	共催
8月18日(火)~26日(水)	第10回大学生のための素粒子・原子核、物質・生命スクール サマーチャレンジ	2016年 2月19日	後援
8月30日(火)~9月2日(金)	第56回真空夏季大学	2016年 7月 4日	協賛
11月7日(月)~10日(木)	31st International Congress on High-Speed Imaging and Photonics (第31回高速度イメージングとフォトンクスに関する国際会議)	2016年 2月 1日	協賛
11月8日(月)~9日(木)	第16回放射線プロセスシンポジウム	2016年7月25日	協賛
11月29日(火)~12月1日(木)	2016年真空・表面科学合同講演会	2016年 7月 6日	協賛

# 庶務幹事報告(2/4)



## 会員数推移

調査日	正会員	賛助会員	購読会員 (直接契約)	購読会員 (書店経由)
2014年 3月 1日	766名 (うち学生46名)	51社	11社	1社
2014年 7月20日	823名 (うち学生52名)	54社	11社	1社
2015年 3月 1日	812名 (うち学生47名)	54社	10社	1社
2015年 7月20日	862名 (うち学生53名)	56社	10社	1社
2016年 3月 1日	836名 (うち学生48名)	56社	9社	1社
2016年 7月20日	862名 (うち学生53名)	57社	9社	1社

昨日昼に開催された評議委員会でさらに8名および賛助会員1社を承認。

# 庶務幹事報告(3/4)

## 加速器ハンドブック進捗状況 (2016.7.28現在)

- **脱稿状況: 約94% !!**
  - ・ 未脱稿の中には、原稿が揃ってから執筆する予定である、各章のはじめの「概論」が多く含まれている
- **組版状況: 約91%**
  - ・ 作業スピードを向上させるため、原稿をゲラにすることを優先
  - ・ 初校出校後は、編纂委員が分担して査読を兼ねた校正作業
  - ・ その後に著者へのフィードバックを行う予定

### ● 今後のスケジュール[予定](再々々・・・改定後)

- ✓ 2016年 ~7月下旬 担当委員による初校校正締切(7月19日目標)
- ✓ ~7月末 未脱稿項目の原稿締切(最終)、脱稿後、随時組版
- ✓ ~8月15日 編纂委員会開催(予定)、再校出校
- ✓ ~8月末 再校校正終了
- ✓ ~9月中旬 最終調整
- ✓ 9月末 校了
- ✓ **10月下旬 刊行**

※ 適宜、編集委員の増員を図る予定ですので、ご協力をお願いします！



## 定款・細則等の改訂について

- ・ 定款・細則は、2度の改訂を経て現在のものとなっているが、最後の改訂からは7年が経過している。そのため、時代の流れにそぐわなくなっている点が見受けられるのではないかと。そこで、これを検証し必要であれば改訂する作業を開始する。
- ・ 改訂委員会を立ち上げて御検討いただくとともに、広く会員をはじめとした方々からの意見を集約しつつ検討を進めたい。
- ・ このタスクフォース立ち上げについては評議委員会で承認され、現在はそのメンバーを選考中である。
- ・ 会員へは、作業の状況について、適宜、報告することとするので、さまざまな御意見をいただけることを期待する。
- ・ 来年 2017年の総会に提出し、ご議論、承認いただく予定としている。

**御協力をよろしく願います。**

# 行事幹事報告(1/6)



## 行事委員

行事幹事 : 中村剛(JASRI)

広報幹事 : 田中俊成(日大)

ホームページ担当 : 佐藤政則(広報委員が兼務、KEK)

アブストラクト・論文集担当 : 菊澤信宏(広報委員が兼務、J-PARC/JAEA)

会場担当(主にポスターおよび企業展示) : 池沢英二(専任、理研)

プログラム担当(プログラム作成支援全般) : 野田悦夫(専任、放医研)

### 第12回年会関係

組織委員長 : 辻宏和(WERC)

プログラム委員長 : 奥田修一(大阪府立大学)

実行委員長 : 羽鳥聡(WERC)

### 第13回年会関係

組織委員長 : 野田耕司(放医研)

プログラム委員長 : 北川敦志(放医研)

実行委員長 : 白井敏之(放医研)

前行事幹事 : 花木博文(JASRI)

# 行事幹事報告(2/6)



## 第13回日本加速器学会年会 開催状況報告

**事前登録** 参加申込 : 477名(一般会員: 349名、一般非会員(企業展示含む):82名、学生会員:30名、学生非会員:16名)

懇親会参加者 : 300名(定員)

**研究発表** 口頭発表 : 69件  
ポスター発表 : 307件(革新的加速器技術の提案 2件)  
施設現状報告ポスター: 30件  
年会賞応募 : 37件 (口頭:13件、ポスター:24件)

**講演** 特別講演:「粒子線治療の過去, 現在, 未来」辻井博彦 (放医研 元理事)  
学会賞受賞講演 : 3件 (奨励賞、技術貢献賞、特別功労賞)  
技術研修会 : 「超伝導電磁石技術」荻津透(KEK)、折笠朝文(東芝)

**展示・広告** 企業展示 : 65社 59小間 (賛助会員:32小間、一般:26小間)  
予稿集広告 : 8社

**その他** 合同セッション3件のテーマをプログラム委員会で決定、同1件を発表申込から選択。\* カテゴリー毎に、発表申込数に比例して口頭発表数を割当。  
カテゴリー ”革新的加速器技術の提案” を新設

# 行事幹事報告(3/6)



年会会計について、本年度は、会場費が高額などの理由により、  
140万円程度の赤字が見込まれる。

これまでの年会の黒字の実績、および、今後の年会で期待される黒字による  
埋め合わせを考慮し、  
本会計から赤字分を補填する。

これについては評議員会・組織委員会にて承認をいただいている。

# 行事幹事報告(4/6)



## 第14回 日本加速器学会年会 開催概要

- 共催：北海道大学
- 後援：未定
- 会期：2017年 8月 1日(火)～3日(木)
- 見学：2017年 7月 31日(月) 北大 札幌キャンパス  
電子加速器・中性子源、超高電圧電子顕微鏡、陽子線治療施設を予定
- 会場：北海道大学（北海道札幌市）
- 実施体制

組織委員長	古坂 道弘 (北大)
プログラム委員長	検討中
実行委員長	古坂 道弘 (北大)

# 行事幹事報告(5/6)



## 第15回 日本加速器学会年会 開催概要

- 共催： 長岡技術科学大学
- 後援： 未定
- 会期： 2018年 8月 8日(火) ~ 10日(木)
- 見学： 未定
- 会場： ハイブ長岡 (新潟県長岡市) を予定

## 加速器学会年会の運営について

### プロシーディングス提出期限の厳守にご協力を

- プロシーディングス編集作業を、期限後速やかに開始できる体制を検討したい。
- 提出期限は年会開始一週間前であるが、期限後も引き続き提出は受け付けており、最終締切日(閉会式でアナウンス)までに提出を。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます

# 会計幹事報告(1/9)

## 2015年度日本加速器学会決算報告

### 収入の部

科 目	細 目	前期実績	当期予算案	当期実績
会費収入		7,970,000	8,126,000	7,852,000
正会員	(158件+前年度前受金624件)×6,000円	4,584,000	4,806,000	4,692,000
学生会員	(34件+前年度前受金21件)×2,000円	96,000	110,000	110,000
賛助会員	(30口+前年度前受金265口)×10,000円	3,200,000	3,100,000	2,950,000
購読会員	(10口+前年度前受金0口)×10,000円	90,000	110,000	100,000
事業収入		14,656,992	13,508,000	14,206,841
会誌販売収入	学会誌売上	126,800	30,000	92,880
会誌別刷収入	「加速器」Vol.12,No.1～No.4	1,173,352	1,000,000	294,441
会誌広告収入	「加速器」Vol.12,No.1～No.4	1,274,220	1,500,000	1,397,520
学術的会合収入	第12回年会	12,082,620	10,978,000	12,422,000
雑収入		1,543,033	500	2,835
受取利息		588	500	885
リニアック技術研究会	リニアック技術研究会より移管	1,538,285	0	0
その他	過払い分返金	4,160	0	1,950
その他		0	0	0
不明金		0	0	0
収入合計		24,170,025	21,634,500	22,061,676



# 会計幹事報告(2/9)

支出の部				
科目	細目	前期実績	当期予算案	当期実績
学会誌出版費		4,957,614	3,155,760	3,468,278
会誌発行費	「加速器」第12巻1号～第12巻4号	4,415,823	2,440,800	3,328,958
別刷印刷費		541,791	153,360	139,320
原稿管理業務			432,000	
校正管理業務			129,600	
運営費		14,968,725	13,895,000	13,176,680
会誌発送費		696,966	432,000	
学術的会合支出	第12回年会開催費	9,675,912	9,363,000	9,033,579
	年会事務局手数料	1,768,676	1,550,000	1,550,000
	委員会費等 当該年度開催の年会分	312,428	500,000	609,690
	次年度開催の年会分	860,364	800,000	834,120
学会賞費	賞状用紙等	187,640	150,000	0
会場費	会議室使用料	226,249	200,000	496,511
旅費	各委員会旅費	1,240,490	900,000	652,780
事務業務費		2,982,177	5,350,000	4,947,861
定額業務委託費	ワーズ(45万×10ヶ月)+三美印刷(64万×2ヶ月)-年会作業分155万		3,850,000	4,030,000
名簿管理費	会員業務(原簿更新・会費請求等)	366,768	定額に含む	
事務管理費	庶務(会員・役員対応に関する基礎費用)	129,600	定額に含む	
	庶務(会議対応・出張・各種案内発送等)	896,400	定額に含む	
	会計(出納簿作成・管理)	259,200	定額に含む	
在庫書籍管理費	バックナンバー・過去資料保管	150,540	定額に含む	
ホームページ維持費	ホームページ維持費	259,200	定額に含む	
事務局出張費	臨時会議のみ	0		21,600
通信費	郵便・電話・サーバー使用料等	377,408	800,000	327,138
	封筒印刷費	131,270	120,000	104,490
備品費	データ保管用HDD等	0	0	7,538
事務用品費	会計クラウドサービス導入	19,942	30,000	19,800
消耗品費	FAX・サーバ分担当金、コピー用紙、役員名刺代	143,187	250,000	108,120
運送費	宅急便等	45,220	50,000	62,289
事務局旅費	会議・打ち合わせ出席時の旅費実費	37,920	50,000	30,680
支払手数料	在庫処理料、契約料、収入印紙、弁護士相談料	0	0	162,780
振込手数料	銀行振込、年会会期以外のカード決済、受取人払い時の手数料	165,522	200,000	73,426
雑損		0	0	0
その他		593,057	915,000	18,063
過去報文集編集	PDF化の製本代	502,845	0	18,063
加速器ハンドブック執筆料		0	915,000	0
学会誌論文転載料		41,212	0	0
不明金		49,000	0	0
支出合計		23,501,573	23,315,760	21,610,882
収支差額		668,452	-1,681,260	450,794
前期繰越剰余金		8573706	9,242,158	9,242,158

# 会計幹事報告(3/9)



## 2015年度貸借対照表

2016年3月31日現在

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	
現金および預金		前受金	
三菱東京UFJ銀行残高	6,030,737	正会員会費(636件×6000円)	3,816,000
郵便振替貯金残高	9,937,898	学生会員会費(27件×2000円)	54,000
みずほ銀行(年会用口座)残高	0	賛助会員会費(250口×10000円)	2,500,000
三菱東京UFJ銀行(行事会計)残高	1,041	書店経由購読会員会費(1件×8000円)	8,000
八千代銀行残高(旧年会用口座)解約済み	0		
手持ち現金残高	101,276		
		前期繰越剰余金	9,242,158
		当期収支差額	450,794
合計	16,070,952	合計	16,070,952

# 会計幹事報告(4/9)

## 2015年度資産負債明細

2016年3月31日現在

資 産 の 部			
科 目	金 額	細 目	金 額
現金および預金	16,070,952	三菱東京UFJ銀行残高	6,030,737
		郵便振替貯金残高	9,937,898
		みずほ銀行(年会用口座)残高	0
		三菱東京UFJ銀行(行省会計)残高	1,041
		八千代銀行残高(旧年会用口座)解約済み	0
		手持ち現金残高	101,276
合計	16,070,952	合計	16,070,952

負 債 の 部			
科 目	金 額	細 目	金 額
会費前受金(3月31日現在入金分)	6,378,000	正会員会費(636件×6000円)	3,816,000
		学生会員会費(27件×2000円)	54,000
		賛助会員会費(250口×10000円)	2,500,000
		書店経由購読会員会費(1件×8000円)	8,000
		合計	6,378,000

剰 余 金 の 部			
科 目	金 額	細 目	金 額
前期繰越剰余金			9,242,158
当期収支差額			450,794
合計			9,692,952

# 会計幹事報告(5/9)



## 剰余金処分計算書

前期繰越剰余金	9,242,158
当期収支差額	450,794
次期繰越剰余金	9,692,952

## 監査報告書

日本加速器学会の平成27年4月1日～平成28年3月31日の決算書について、  
監査の結果、正確かつ適正であることを認めます。

平成28年7月13日  
日本加速器学会

監事 小林 仁 (印)

## 監査報告書

日本加速器学会の平成27年4月1日～平成28年3月31日の決算書について、  
監査の結果、正確かつ適正であることを認めます。

平成28年7月13日  
日本加速器学会

監事 新富 孝和 (印)

# 会計幹事報告(6/9)



## 2016年度日本加速器学会予算案

2016年4月1日～2017年3月31日

### 収入の部

科 目	細 目	2015年度実績(A)	2016年度予算案(B)	増減高(B-A)
会費収入		7,852,000	8,238,000	386,000
正会員	814名×6,000円	4,692,000	4,884,000	192,000
学生会員	53名×2,000円	110,000	106,000	-4,000
賛助会員	315口(57社)×10,000円	2,950,000	3,150,000	200,000
購読会員	9口×10,000円	100,000	90,000	-10,000
書店経由購読会員	1口×8,000円	0	8,000	8,000
事業収入		14,206,841	15,302,300	1,095,459
会誌販売収入	学会誌売上	92,880	100,000	7,120
会誌別刷収入	「加速器」Vol.12,No.1～No.4	294,441	500,000	205,559
会誌広告収入	「加速器」Vol.12,No.1～No.4	1,397,520	1,400,000	2,480
学術的会合収入	第13回年会	12,422,000	13,302,300	880,300
雑収入		2,835	800	-2,035
受取利息		885	800	-85
その他	過払い金返却(2015年度)	1,950	0	-1,950
その他		0	0	0
不明金		0	0	0
収入合計		22,061,676	23,541,100	1,479,424

# 会計幹事報告(7/9)

## 支出の部

科 目	細 目	2015年度実績(A)	2016年度予算案(B)	増減高(B-A)
学会誌出版費		3,468,278	3,700,000	231,722
会誌発行費	「加速器」第13巻1号～第12巻4号 印刷・原稿管理・校正・発送	3,328,958	3,500,000	171,042
別刷印刷費	別刷り印刷・発送	139,320	200,000	60,680
運営費		13,176,680	15,645,404	2,468,724
学術的会合支出	第13回年会開催費(内事務局手数料155万円) 委員会費等 当該年度開催の年会分 次年度開催の年会分	10,583,579 609,690 834,120	14,645,404 年会開催費に含 年会開催費に含	4,061,825 -609,690 -834,120
学会賞費	賞状用紙等	0	100,000	100,000
会場費	会議室使用料	496,511	100,000	-396,511
旅費	各委員会旅費	652,780	800,000	147,220
事務業務費		4,947,861	5,630,000	682,139
定額業務委託費	54万×12ヶ月-年会分担分155万 会員管理、庶務、会計、バックナンバー保管 等	4,030,000	4,930,000	900,000
事務局出張費	臨時会議のみ	21,600	10,000	-11,600
通信費	郵便・電話・サーバー使用料等 封筒印刷費	327,138 104,490	200,000 110,000	-127,138 5,510
備品費		7,538	15,000	7,462
事務用品費		19,800	15,000	-4,800
消耗品費	コピー用紙、役員名刺代など	108,120	100,000	-8,120
運送費	宅急便等	62,289	65,000	2,711
事務局旅費	会議・打ち合わせ出席時の旅費実費	30,680	10,000	-20,680
支払手数料	在庫処理料、契約料、収入印紙、弁護士相談料など	162,780	100,000	-62,780
振込手数料	銀行振込、年会会期以外のカード決済、受取人払時の手数料	73,426	75,000	1,574
その他		18,063	1,395,800	1,377,737
過去報文集編集	PDF化の製本代(2015年)	18,063	0	-18,063
加速器ハンドブック執筆料		0	915,000	915,000
ホームページ更新		0	200,000	200,000
年会特別講演撮影	撮影、編集、公開	0	280,800	280,800
不明金		0	0	0
支出合計		21,610,882	26,371,204	4,760,322

# 会計幹事報告(8/9)

## 収支差額・剰余金

科 目	2015年度実績(A)	2016年度予算案(B)	増減高(B-A)
収支差額	450,794	-2,830,104	-3,280,898
前期繰越剰余金	9,242,158	9,692,952	450,794
次期繰越剰余金	9,692,952	6,862,848	-2,830,104

2016年度は赤字予算となるが、年度の特殊要因(都市部での年会開催、加速器ハンドブックの執筆料支払い、ホームページの更新)を除けば収支はほぼバランスする見込みである。

学会の健全な運営・発展には、会員、賛助会員、広告、企業展示などをさらに増やしていくことが必要です。  
引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。

# 会計幹事報告(9/9)



## 学会事務局委託先変更について

学会創設以来事務局業務を委託していた(有)ワーズの廃業に伴い、2016年2月より委託先を三美印刷(株)に変更した。

委託先決定に当たっては4社の候補からヒアリングと見積取得を行い、以下の理由より費用の増加無しに事務局機能を向上できると判断し、三美印刷(株)に決定した。

- 年間契約料は上がるが(648万円、ワーズは540万円であった)、以前より学会誌の印刷を依頼しており、業務の一括化効果によりトータル費用では大きく増加しない。
- 東京駅近くの社屋の会議室を無償で使用でき、会議室借用費が節減できる。
- 上記により事務局出張費も削減できる。
- IT、通信などのインフラが活用できる。
- 事務局担当者を継承する。また事務局繁忙期の人的サポートがある。